

## 長崎県西海市江島沖における協議会（第1回）

### ○日時

令和3年4月23日（金）13時30分～15時30分

### ○場所

オリーブベイホテル「牡丹」

（一部の構成員はWEB会議形式にて参加）

### ○参加者

経済産業省資源エネルギー庁新エネルギー課 清水課長、国土交通省港湾局海洋・環境課 松良課長、農林水産省水産庁漁港漁場整備部計画課 小林計画官、長崎県産業労働部 三上政策監（廣田部長代理）、西海市 杉澤市長、西海大崎漁業協同組合（江島漁業権管理委員会） 柏木理事（会長）、西海大崎漁業協同組合 小山代表理事組合長、大瀬戸町漁業協同組合 本木代表理事組合長、西彼海区漁業協同組合長会 柏木会長、長崎県旋網漁業協同組合 柳村専務理事、崎戸商船株式会社 木原代表取締役、NTT ワールドエンジニアリングマリン株式会社マリンオペレーション部 田島設備管理担当課長、九州電力送配電株式会社配電部配電建設グループ 植松副長、長崎総合科学大学 池上学長、東京海洋大学 松山名誉教授、一般社団法人海洋産業研究会 中原顧問、環境省大臣官房総合環境政策統括官グループ環境影響審査室 豊村室長補佐（オブザーバー）

### ○議題

- （1）本協議会の運営について
- （2）説明・意見交換

- （1）本協議会の運営について

- 事務局より協議会運営規程（案）を説明し、承認された。
- 構成員による推挙及び座長からの指名により、座長を池上構成員、副座長を松山構成員と選任された。

- （2）説明・意見交換

- 事務局より資料4、資料5について説明。

## 西海市

- 洋上風力に関して西海市としては、環境との調和、地域との共生を目的として、2017年度に風力発電等に係るゾーニング計画を策定し、本海域を風力発電事業の推進エリアとして位置付けを行った。
- その後、風力発電導入に向けた地域検討会や海洋ポテンシャルを活用した地域振興策の実証調査、また、2020年度から3箇年かけ、長崎大学と共同で、本海域を中心とした、海洋エネルギーと水産業の共生モデルに関する研究を行っていく。
- 西海市の脱炭素の取り組みに関しては、江島沖の洋上風力発電事業推進にあわせ、本市に立地する松島火力発電所の高効率発電システムへの転換に関して、国、電力事業者に要望を行ってきており、4月16日に電力事業者より石炭ガス化技術を活用したシステムの導入を目指す「GENESIS 松島計画」が発表されたところであり、実現に向けて西海市としても全力を挙げて取り組んでいくところである。
- また、本区域における洋上風力発電の導入が実現することで、地元企業の活用、メンテナンス等の関連産業の誘致、雇用促進、有人国境離島の人口減少対策等に繋がるほか、県内製造業においても関連機器の受注の可能性など、地元産業への大きな経済効果が期待される。
- 発電事業者に関して、長期に安定的に洋上風力発電事業を実施できる業者が選定されるものであるが、本市としては地域にとって信頼できる発電事業者の選定を望んでいる。
- 事業推進に際しては、環境への配慮や地元漁業者との共存共栄が重要であると考えており、本協議会を通じて関係者の理解が進み、合意形成が図られるよう、よろしく願いしたい。
- 再生可能エネルギー導入など、脱炭素に向けた動きは今後加速していくものと考えており、西海市としても、国と協力しながら進めていきたい、よろしく願いしたい。

## 事務局（経済産業省）

- 西海市において、様々な取り組みが行われてきた結果として今回の協議会に繋がっているものと認識しており、国としても地域と

共存共栄し、地域の発展に繋がる再生可能エネルギー導入のモデルケースになるように進めていきたいと考えている。

- 脱炭素実現に向けた再生可能エネルギー導入などの方向性は定まっているが、具体的な実現方策の検討はこれからであると考えている。
- 脱炭素実現に向けて積極的に取り組んでいる自治体と協力しモデルケースを作り上げ、これらケースを日本全体に広げていかなければならないと考えている。

### **西海大崎漁業協同組合（江島漁業権管理委員会）**

- 江島の共同漁業権を有しているのは、江島の漁業者のみであることをご理解いただきたい。
- 漁業権設定区域は豊かな漁業資源を有しており、漁業のみで生計が成り立っている状況であるが、江島は少子高齢化、人口減少の進行により生活基盤が揺らいでおり、将来的には生活が成り立たなくなる不安を抱えている。
- 洋上風車が設置されることにより、漁業や漁業資源への影響、生活の影響を不安視している状況はあるが、洋上風力発電事業の導入により生活基盤の向上が図られることを期待して、本協議会に参加している。
- 洋上風力発電導入に際しては、江島の漁業者が将来にわたり漁業を続けていけるよう、漁業振興、環境づくりなどが行え、地域と共存共栄できる事業者が選定されるようお願いをしたい。
- 風車の立地による影響に対する不安を払拭するため、風車設置後に影響が生じた場合の改善が行えるよう、漁業資源の実態調査も行っていたいただきたい。
- 国として売電価格を下げていけるよう取り組んでいることはありがたいが、理解できるが、コスト削減を重視するあまり、信頼性の低い設備導入や工事が行われ、地域の安全や環境が脅かされること、また、漁業や地域への貢献がないがしろにされることを懸念しており、設置区域の状況を踏まえ、安全や信頼が確保されるような条件を設定した上で、事業者の選定を行っていただきたい。
- 洋上風力発電事業の導入により直接的に影響を受けるのは江島の漁業者や島民であるが、当該関係者は少数である。江島以外の大多数の関係者の意見により、江島の地域振興への配慮がなされなくなることを懸念している。

- 当初は江島を中心とした振興が行われても、その後、江島に対する振興がなされなくなることがないよう、20年間にわたり、持続的に、江島に対する振興が図られる仕組みを構築した上で進めていきたい。

### 池上座長

- 江島の将来を見据えた取組が重要であり、最終的な協議会としての取りまとめの中でご指摘の事項を反映させていくことができるものと考えている。

### 西海大崎漁業協同組合

- 江島における共同漁業権は江島の漁業者のみが行使しており、西海大崎漁業協同組合としては、江島の漁業者の意向を尊重し、洋上風力発電導入に際しては、漁業が持続的に行える環境を実現していただきたく、また、江島の漁業者の支援も行っていきたいと考えている。

### 西彼海区漁業協同組合長会

- 漁業関係者は持続的に漁業で生活できることを望んでおり、洋上風力発電導入に際しては、漁業との共存共栄が図られ、漁業の衰退を招くことの無いよう、丁寧な協議を行いながら進めていただきたい。一つの産業が終わり、一つの産業が始まるということにならないようにしていただきたい。

### 大瀬戸町漁業協同組合

- 大瀬戸町漁業協同組合としては、江島の関係者と同様に洋上風力発電事業が導入されるように願っている。
- 海底ケーブルが敷設される可能性がある一般海域においても様々な漁業が行われており、風車設置前から事業終了まで、漁業に支障が発生しないように計画をしていただきたい。
- ケーブルの陸揚場所となる可能性がある松島においても共同漁業権が設定されており、漁業に支障が生じないようお願いしたい。

### 長崎県旋網漁業協同組合

- 洋上風力発電事業に関係する区域で操業している漁業者に支障が生じないよう、十分な協議を行った上で事業を進めていただき

たい。

### 事務局（経済産業省）

- 漁業関係者の意見を踏まえて、関係者にとって望ましい共存共栄策を検討していく場が、本協議会であると考えている。
- 今後、協議会において、漁業との共存共栄策や漁業影響調査などに関する具体的な議論を行い、協議会意見としてとりまとめていくものと考えている。
- また、地域ごとに漁業のあり方などの状況は異なり、本海域における実態を踏まえた、丁寧な議論を進めていければと考えている。
- 事務局としても関係者の意見がもれなくとりまとめられるように、対応していきたいと考えている。

### 崎戸商船株式会社

- 弊社では、平島、江島と五島や本土を結ぶフェリーを運航しており、江島沖の区域内に航路が設定されている。
- 当該フェリーは江島や平島などの島民の唯一の公共交通となっており、風車設置により船舶航行に支障が無いようお願いをしたい。
- 江島や平島の急激な人口減少により、利用客も減少しており、弊社としても懸念を持っている。
- 風車建設時はもとより、維持管理等における地元への経済効果、また、江島や周辺地域の活性化、フェリーなど離島航路の利用者増加も期待しており、洋上風力発電事業の実現に向けて協力していきたいと考えている。

### NTT ワールドエンジニアリングマリン株式会社

- 江島周辺には NTT 西日本所有の海底ケーブルが敷設されており、漁業関係者の理解もいただきながら、維持管理を行ってきている。
- 今後、洋上風車設置に際しては、既存の事業者にも配慮いただいた上で進めていただきたい。

### 九州電力送配電株式会社

- 江島周辺には弊社海底ケーブルを敷設させていただいている。
- 今後洋上風車の設置により新たにケーブルが敷設されるものと考えており、新規ケーブル敷設に際しては、弊社ケーブルとの距離などに関して、意見を述べさせていただきたいと考えている。

### 事務局（経済産業省）

- 既設ケーブル、船舶航行についても影響が発生しないよう風車設置の具体計画を検討していただく必要があるものと考えている。

### 事務局（長崎県）

- 長崎県は広域な海域を有しており、また、造船が盛んであり関連企業が多く立地し、関連技術の蓄積も進んでいる地域となっている。
- 県としてもこれら地域状況を踏まえて、県内における海洋エネルギー関連産業創出に向けた取り組みを進めてきている。
- 一昨年には五島市沖の海域について、関係者との合意が図られ、促進区域の指定がなされ、現在、洋上風力発電事業導入に向けた手続きが進められているところである。
- 江島沖についても、関係者のご理解をいただきながら、促進区域指定に向けた取り組みを進めていきたいと考えている。
- 漁業との共存共栄について、江島周辺の海域は漁業が盛んな海域であり、洋上風力発電事業導入に際しては、影響の懸念がある関係者に対して、丁寧な説明を行い、理解を得た上で進めていくことが重要と考えており、発電事業者にもその旨を求めていくことで考えている。
- 環境への配慮について、法に基づき適切な環境影響評価を行い、風力発電事業導入に際しては、環境への影響を可能な限り低減をしていくことが重要と考えており、発電事業者にもその旨を求めていくことで考えている。
- 当該海域周辺には世界文化遺産である、長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産が点在しており、事業実施に際しては、世界文化遺産への影響が発生しないよう、事業計画の段階において、遺産影響評価の実施を発電事業者に求めていきたいと考えている。遺産影響評価についてはユネスコへの報告書の提出が必要となる場合があり、ユネスコからの回答次第では事業計画の変更など、調整が求められることも想定される。
- 洋上風力発電の推進、漁業・地域との共存共栄に向けた合意形成、世界文化遺産の保護が実現できるように関係者の皆様にご協力をいただきたいと考えている。
- 一昨年の五島市沖の取り組みに引き続き、江島沖の促進区域指定に向けて取り組みを進めることで、西海市が洋上風力発電導入、

高効率火力発電転換などカーボンニュートラルのモデル地域となるよう、市と連携して進めていきたいと考えている。

#### 松山副座長

- 西海市や漁業関係者の洋上風力発電事業導入に対する意向、また、漁業関係者の事業導入に対する懸念が示され、今後の協議を進めるに際して、大変参考となった。
- 協議を進めるに際しては、区域周辺の漁業の種類や魚種などの資料も提示いただくと協議の参考になるものと考えている
- また、資料5に記載の海底地形図についても提示資料は分かりずらいため、容易に海底地形が分かる資料、また、海底地盤についても、砂や岩礁など、大まかな資料も提示いただくと、協議の参考になるものと考えている。
- 先進地域である欧州においては、研究も含め、洋上風力に関する知見が蓄積されており、これら知見も環境アセスメントなどに生かしていただきたいと考えている。

#### 事務局（経済産業省）

- 有望な区域等に選定している区域については、国において、風況や海底地盤調査を行っており、それらの結果についても分かりやすい形で提示していきたいと考えている。
- 海外事例に関しても、ご要望に応じて、国の方でも調査を行い、提示していきたいと考えている。

#### 事務局（国土交通省）

- 海底地盤調査については音波探査による平面的調査、ボーリングによる立体的調査を行っており、ご指摘のあった海底地質についても大まかな情報は示せるものと考えており、次回以降の協議会の中で具体的にご説明したい。

#### 松山副座長

- 当該区域は水深50m以浅であり、風車は着床式を想定しているのか。
- 着床式であれば、欧州などの研究結果などでは、風車の基礎において漁礁効果が期待できるといった結果も多々見られ、本区域の事業においても風車による漁礁効果が期待できるのではないかと考えている。

## 事務局（経済産業省）

- 風車は着床式を想定している。
- 風車の設置により、漁礁効果が生じ、漁業振興に繋がることは理想的と考えており、専門家の皆様の知見もお借りできればと考えている。

## 中原構成員

- 当該地域は、環境省ゾーニング事業により、ご指摘の海底地形や漁業実態に関する情報の蓄積もなされており、それらの活用も可能ではないかと考える。
- 漁業関係者からの意見のなかに、洋上風力発電事業の導入は不安があるが、協議会へ参加し、漁業の将来を考えていきたいとの意見があったが、この点を重く受け止め、漁業協調のモデル地区となるよう取り組みを進めていくことが望ましいと考えている。
- また、漁業が今後長期に持続的に続けられるように配慮いただきたいとの意見については、発電事業の実施期間中におけるPDCAサイクルの導入等により、漁業協調策の効果を評価し、適宜見直していくことが望ましいと考えている。
- 当該区域は漁業協調のモデルと成り得るポテンシャルがあるとともに、島おこしのモデルにも成り得るのではないかと考えている。

## 水産庁

- 今後協議を進めるに際しては、具体のデータを提示いただきながら、丁寧な議論が行われるように進めていただきたい。

## 環境省

- 環境への配慮について、環境影響評価法に基づき、適切な環境影響評価が行われ、環境配慮に関して、関係者の理解が得られた上で事業が進んでいくことを期待している。

## 西海市

- 西海市は水産業が基幹産業であり、当該区域においては、洋上風力発電事業の推進に際して、水産業との共存共栄を図り、水産業と一体的に事業を進めていくという強いメッセージを協議会を



通じて全国に発信していくことが望ましいと考えている。

**池上座長**

- 今回の協議会を通じて、洋上風力発電事業の推進に際しては、漁業との共存共栄が重要な観点となるものと理解し、次回以降の協議会で議論を深めていきたいと考えている。

以 上